

# 先進事例の視察・研修

いずみ会

自治体学会フォーラムに参加

5月21日、所沢市民文化センターで実施の緊急フォーラム「東日本大震災に自治体はどう立ち向かっていくか」に参加しました。

東日本大震災での教訓を将来の備えとしてどのように学び、取り組んで行けばよいのが提起されました。中川幾郎帝塚山大学教授、相川康子自治体学会運営委員等の講演がありました。阪神淡路大震災経験者からは、ボランティア等の教育などの必要性の提言等がされました。

フォーラム会場にて



野子大洋

「防災はコミュニケーションの視点から」

8月26日、27日、五反田ゆうほうとで開催された第13期自治体政策講座に参加しました。



自治政策講座修了証書

3月11日以降、エネルギー、環境、そして福祉、経済といった暮らしを根本から見極めることが求められています。

経済成長を絶対的な目標としなくとも十分な豊かさが実現する社会を示唆しているように感じます。在校生が全員無事だった釜石市の津波防災教育にはたくさんヒントがありました。

5つの講座を通じて東日本大震災を大きな自然災害とのみ捉えるのではなく、コミュニケーションの視点から掘り下げるべき課題であることを学びました。

田明持敏

いわき市の復旧と復興

全国地方議員交流会主催の被災地現地調査会に参加し、東日本大震災から約5か月後の福島県いわき市を訪れました。

いわき市にある合同庁舎でいわき市被災地現地調査説明会が行われ、福島県いわき市地方振興局長小林武正氏より「本日の視察で福島県といわき市の復旧と復興を肌で感じて、引き続きのご支援をお願いします」との挨拶がありました。

被災地の多くは基礎コンクリートだけが残り、日常生活は一変し、今はただ跡地に雑草が生えて荒涼としていました。小林氏の「引き続きのご支援を」という言葉が実感として受けとられ、微力ながらも支援を心に決めました。



松江市の議会議員と一緒に

## 「わたしたちの平和宣言」を採択!!

少し緊張した様子で、市内8小学校の代表者19人が子ども議会議員として来場しました。

今回の子ども議会は市制施行20周年記念事業として開催され、「わたしたちの平和宣言」を議題としました。

どの学校も、議題の「平和」について一生懸命考え、子ども議員も代表者として恥ずかしくない態度で臨んでいました。

質問に答える市長、市議会議員も、子ども議員の真しな態度



に応え、議場は良い緊張感に包まれていました。

## 編集

### 後記

平成23年第3回定例会においては、22年度の歳入歳出決算の認定について等、重要案件を審議しました。

一般質問は13人の議員が登壇し、それぞれの議員の思いの込もった質問がなされました。

市民の方から、市議会では何をしているのか見えにくい、との意見を多々ちょうだいします。鶴ヶ島市議会では、一般質問

についてはホームページで録画中継を見ることが出来ます。

市民の方に親しみやすい議会報にするべく、編集委員と共にさらに努力してまいります。

くれぐれもお体にご留意くださいますようお願いいたします。(高)

(議会報編集委員)

- 委員長 高橋 剣二
- 副委員長 内野 嘉広
- 委員 山中 基充
- 委員 松尾 孝彦
- 委員 大野 洋子
- 委員 出雲 敏太郎